



第23回ダイハツ全国小学生ABCバドミントン大会

松下一誠君 全国制覇おめでとう！

スポーツ国際交流員として、バドミントン指導を行っている
チャンドラさん(右)とヘンドロクさん(左)。中央は松下君



昨年冬の全国小学生バドミントン選手権大会に続く2大会を制覇

8月13日から14日まで第23回ダイハツ全国小学生ABC大会が、熊本県八代市にある八代トヨオカ地建アリーナ（八代市総合体育館）で開催され、白糠小学校6年の松下一誠君（Sparky Jr / 北北海道）が推薦選手として出場しました。

大会は、5・6年生で争うAグループ、3・4年生のBグループ、1・2年生のCグループで行われ、松下君はAグループに出場。準々決勝では1セット目を落としましたが、その後は続けて2セットを奪取して逆転勝利。準決勝、決勝を含む残りの4試合はすべてストレート勝ちして、見事に同大会初優勝を飾りました。

17日、両親と共に白糠町へ凱旋した松下君を、友人や町教育委員会の川島眞澄教育長、滝川敦善白糠小校長などの教育関係者20人が社会福祉センターで出迎えました。

川島教育長は優勝をたたえ、松下君に花束を手渡すと、松下君は「2連覇できてうれしいです。応援していただき、ありがとうございます。ありがとうございました」と感謝を述べました。

